

補強土壁工法技術ノート(No.5)

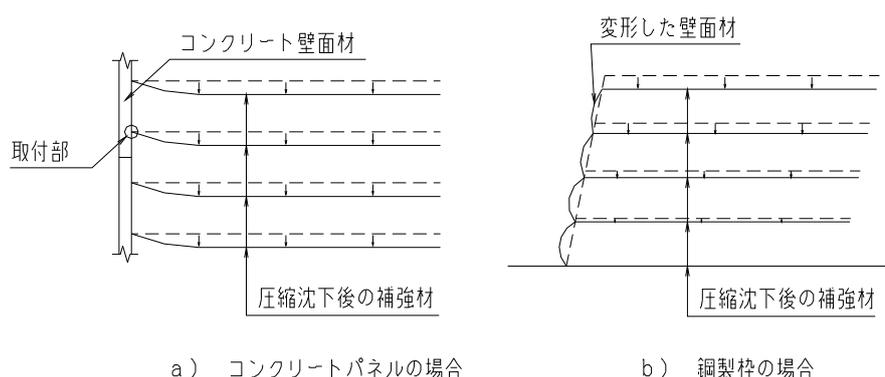
【壁面材の種類と特性】

補強土壁工法の主要部材には補強材と壁面材と盛土材がある。

表－1に現在使用している代表的壁面材と特性を示す。

表－1 代表的壁面材の特性

壁面材	特 性	問題点及び対策
コンクリート パネル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観上安定感があるため、都市部での重要構造物に使用される。 ・ 壁面勾配は通常垂直。 ・ 施工実績は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面変形（前倒れ） ・ 盛土材の圧縮沈下が大きくなると、壁面材と補強材の連結部が破断する恐れがある。 ・ 対策として良質な盛土材を使用
コンクリート ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外観は良好で、土地造成に使用される場合が多い。 ・ 海外実績は多いが、国内実績は少ない。 	
現場打ち コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道での実績がほとんど。 ・ 壁面変形はほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二重壁構造。 ・ 施工性は悪い。 ・ 割高のため道路での実績は少ない
鋼製枠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面緑化が可能であるため、郊外の農道、林道に多く使用される。 ・ 外観上安定感に乏しいため、重要構造物には使用されにくい。 ・ 壁面勾配は 1 : 0.2～0.5 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面変形（圧縮） ・ 耐久性はコンクリート製よりも劣る。 ・ 対策としては良質な盛土材を使用



図－1 盛土材の圧縮沈下が大い場合

お問合せは下記まで

REECOM 株式会社 補強土エンジニアリング
〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目6番6号(カーニープレイス西本町6F)
TEL(06)6536-6711 FAX(06)6536-6713
インターネットホームページ: <https://www.reecom.co.jp>
Eメール: info@reecom.co.jp